

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員 指導課 特別指導員
岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

日立理科クラブ・小嶋 康行さん

その22 日立市立宮田小学校



日立理科クラブの「理科室のおじさん」、小嶋康行さんを訪ねました。小嶋さんは、宮田小学校2年目です。栃木県の宇都宮市出身で、小嶋さんの父親は軍用戦闘機の溶接・板金に従事していた職人さんだったそうです。職人氣質の父親の厳しさを肌身で感じ、「父親の影響は、今思えばたくさん受けた気がしますね。」と、父親の思い出を語っていました。親の仕事の関係で農村地に引っ越しをしたときは、家の前と後ろに小川があり、魚捕りが遊びになり、フナ・ナマズ・ドジョウ・カジカ・ヤマベなど、たくさんの種類の魚を捕ったそうです。宇都宮市内の工業高校を卒業して日立製作所・日立研究所に就職し、FAX(ファクシミリ)の研究開発に約30年従事したというからすごいことですね。

「30年という歳月の中、ファクシミリの開発と生産の盛況な時期、そして、パソコンの普及に伴う衰退期を経験しました。」と、自分の仕事を感慨深げに振り返っていました。趣味は、日立グループのハイキングクラブ「頑張会」での自然散策のウォーキングをすることだそうです。この会は創設85年を迎えるという歴史と伝統のあるクラブで、小嶋さんは会の主要なメンバーになっています。「恒例の月一回の里山散策は、自然に溶け込み自然に触れることのできる楽しみの一つです。」と、趣味を楽しんでいる様子が伺えました。茨城県内では、奥久慈男体山や筑波山がお気に入りの場所だそうです。特に、筑波山は何十回も登っていて、それでも飽きずすばらしい場所だということでした。

宮田小学校では、ビオトープに自然エネルギーの太陽光発電を設置し、子どもたちの環境教育の場としています。その計画に関わっていて、小嶋さんのたくさんのアイデアや実際の方法等が取り入れられています。「2年目になり、学校にも慣れてきたので、積極的に授業支援にも関わっていくようにしています。」と、子どもたちとの触れ合いを大切にしている様子が伺えました。写真にある天体望遠鏡は、金環食観察のために鮮明で大きな投影像を得られるように小嶋さんが改良を加えたものです。当時は、子どもたちや先生方、保護者の方たちも参加し、金環食の光景に感動が広がったそうです。また、科学クラブの活動では、率先して活動計画や準備などに小嶋さんの役割が大きくなっています。これからも「理科室のおじさん」として、小嶋さんの持ち味を存分に発揮してくれることを期待したいですね。



太陽光パネルを頑丈なパイプで造った土台に設置



改良を加えた望遠鏡
投影された金環食



— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230
IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954
E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp
日立市郷土博物館 岩波 英一